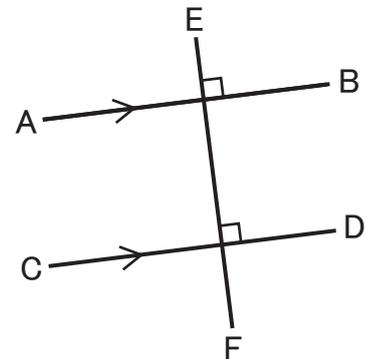


平面図形の作図 (1)

直線の位置関係を表す記号

右図の直線ABとCDが平行なとき、 $AB \parallel CD$ と表すことができる。

また、直線ABとEFが垂直なとき、 $AB \perp EF$ と表すことができる。



垂線

ある直線に垂直な直線のことを**垂線**という。

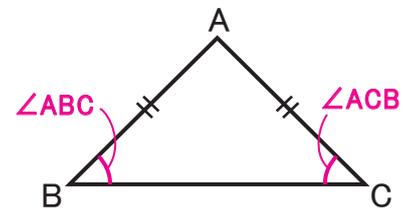
右図でEFはABの**垂線**である。(同様に、ABはEFの垂線である)

角の表し方

直線AB, BCによってできる角を、 $\angle ABC$ と表すことができる。

角の大きさも表すことができ、2つの角の大きさが等しいことを

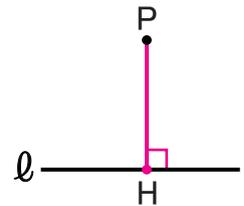
$\angle ABC = \angle ACB$ のように表すことができる。



直線と点の距離

点Pから直線ℓに引いた垂線と、直線ℓとの交点を点Hとすると、

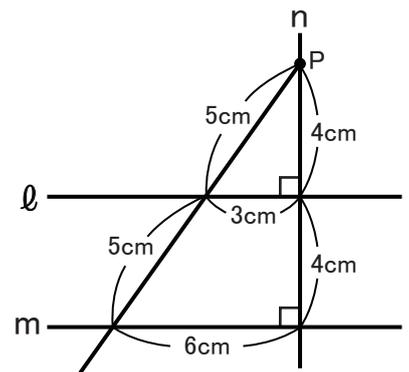
線分PHの長さを、**点Pと直線ℓとの距離**という。



【1】右の図について、次の問いに答えなさい。

- (1) 直線ℓとmの位置関係を、記号を使って表しなさい。
- (2) 直線ℓとnの位置関係を、記号を使って表しなさい。
- (3) 直線ℓとmの距離を求めなさい。
- (4) 点Pと直線mとの距離を求めなさい。

(1) $\ell \parallel m$ (2) $\ell \perp n$ (3) 4cm (4) 8cm



【2】右図の角①, ②を、記号∠を使って表しなさい。

① $\angle ABC$ (または $\angle CBA$)

② $\angle ACD$ (または $\angle DCA$)

